

キーパーソンの具体的な活動の明確化について

1 現状と課題

平成29年度に市内日本語教室やプラザとつながりのある方、市の通訳翻訳業務をお願いしている方などにお声がけし、キーパーソン登録を行いました。また、平成30年度には、キーパーソンの役割を定義しましたが、具体的な動きになっていない状況です。

このため、キーパーソン、関係団体、個人の方による意見交換会を昨年10月30日に開催し、キーパーソンの役割について意見をいただきました。意見として「キーパーソンの定義のイメージがわからない」、「キーパーソンとしての具体的な活動内容が示されていない」とのご指摘がありました。

➡キーパーソンの具体的な活動が明確化されていないため、定義もイメージしにくい

2 意見交換会で出たキーパーソンの具体的な活動案について

【外国人キーパーソン】

- ・自分が住む地域の同国人または他国の外国人住民と緩いつながりを作る。また、地域の日本人キーパーソンなど関係者と顔合わせをし、気楽に連絡できる関係を構築する。
- ・日本政府や松本市の多文化共生に関する有用な情報・変化などを他のキーパーソンまたは松本市等から聞いた場合、知っている範囲の外国人住民に伝える努力をする。
- ・来日間もない同国人や日本語でコミュニケーションが十分に取れない外国人から多文化共生施策に関わる意見を聞いた場合は、それを松本市または関係者に伝える役目も持つ。
- ・キーパーソン研修に参加し、多文化共生事情を深く理解し、キーパーソン・スキルを向上させる。

【日本人キーパーソン】

- ・地域の外国人キーパーソンと顔合わせをし、自分が住む地域の外国人住民と緩いつながりを作り、気楽に連絡できる関係を構築する。
- ・日本政府や松本市の多文化共生に関する有用な情報・変化などを他のキーパーソンまたは松本市等から聞いた場合、知っている範囲の外国人住民に伝える努力をする。
- ・来日間もない外国人や日本語でコミュニケーションが十分に取れない外国

人から多文化共生施策に関わる意見を聞いた場合は、それを松本市または関係者に伝える役目も持つ。

- ・キーパーソン研修に参加し、多文化共生事情を深く理解し、キーパーソン・スキルを向上させる。
- ・外国人が、相談事を気安く持ち込める存在であるために、外国人が集まりそうな場所に定期的に顔を出すこと。

3 キーパーソン・ネットワークの目的

- (1) 外国人住民の相談やニーズの集約、拾い上げ
- (2) 外国人住民への情報の伝達
- (3) 外国人住民の地域づくりへの参画

4 市が考えるキーパーソンの活動

別紙

5 今後の市の取組み

- (1) 定期的な研修会の開催（研修会では、多文化共生に関する国・県・市の動きを紹介する、市各担当課の役割を紹介するなど）。グループワークや情報交換タイム等参加型の交流の機会とする。
- (2) 地区でのキーパーソン・ネットワーク形成に向け、まずはモデル地区を選定して進める。そのためには、地域づくりセンターや社協との連携が必要。まずは、キーパーソンの具体的な活動を明確化し、ネットワーク化に向けて、キーパーソンの増加や、繋がりを築いていく。
- (3) 災害発生時の情報発信におけるキーパーソンの協力について研究していく。
- (4) キーパーソンの役割がイメージしやすいチラシなどを作成する。
- (5) 現行のキーパーソンに紹介してもらい、次々とネットワークを広げていく。地区ごとに広げることに留意する。